

<研究名称>

現任フライトナースの他者評価会の振り返りと今後の課題
～フライトナースの実践能力を評価する取り組みを見直して～

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 HCU・救急外来 看護師長 大塚 操
実施担当者 HCU・救急外来 看護師 三浦 美穂 SCU 木内 千保

<研究期間>

2020年6月～7月

<診療・研究の目的・意義>

道北ドクターヘリでは、2017年度の看護研究で画像転送システムの動画と独自に作成した評価表を使用し、インタビュー形式による他者評価が看護実践の評価と症例の共有に有効であることがわかり、現任フライトナースの継続教育として実施している。しかし、評価会の参加率や評価者・被評価者の経験回数にも個人差があるなど問題があるのが現状である。そこで現行の他者評価会に関するアンケート調査を実施し、問題の改善策と今後の課題を明らかにしたいと考えた。

現任フライトナースの他者評価会の問題点と課題を明らかにし、他者評価会を充実させることで現場救急での知識や看護実践の質の維持・向上に繋がるのではないかと考える。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

1. 研究デザイン

質問紙調査法

2. 対象・期間

対象：道北ドクターヘリの現任FN A病院7名とB病院3名

期間：2020年4月1～5月30日

3. データの収集方法：

アンケート調査による調査内容

- ①基本属性（経験年数、評価会参加の有無、）
- ②評価会の方法について
- ③症例の選出について
- ④継続教育について

4. データの分析方法：

量的な分析が可能な項目は単純集計

自由記述の内容は機能的分類による内容分析を行いカテゴリー化する

〈倫理上問題になると考えられる事項〉

アンケート回答は無記名とし、対象者には自由意思の尊重、匿名性の保証、研究以外には使用しないことを明記し、アンケートの回答をもって協力の同意とした。

〈問い合わせ先〉

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 HCU・救急外来 看護師 三浦 美穂 SCU 木内 千保

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648